

インマヌエル中目黒キリスト教会

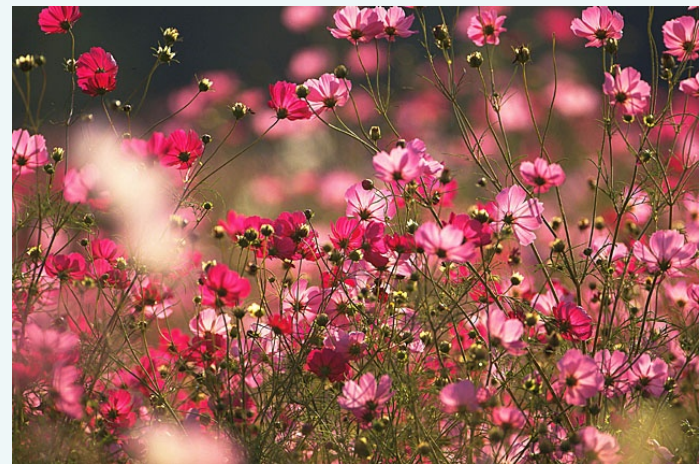
2012年10月28日 聖日礼拝

エペソ書連講 (29)

「絶えず目をさまし、祈りなさい」

エペソ書6章14－20節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

エペソ人への手紙6章14-20節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp348/ 第三版の聖書はp381

- 14 では、しっかりと立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、
- 15 足には平和の福音の備えをはきなさい。
- 16 これらすべてのものの上に、信仰の大盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます。
- 17 救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。

18 すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。

19 また、私が口を開くとき、語るべきことばが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるように私のためにも祈ってください。

20 私は鎖につながれて、福音のために
大使の役を果たしています。鎖につなが
れていても、語るべきことを大胆に語れ
るように、祈ってください。

説教

エペソ書連講(29)

「絶えず目をさまし、祈りなさい」

エペソ人への手紙

6章14-20節

竿代照夫 牧師

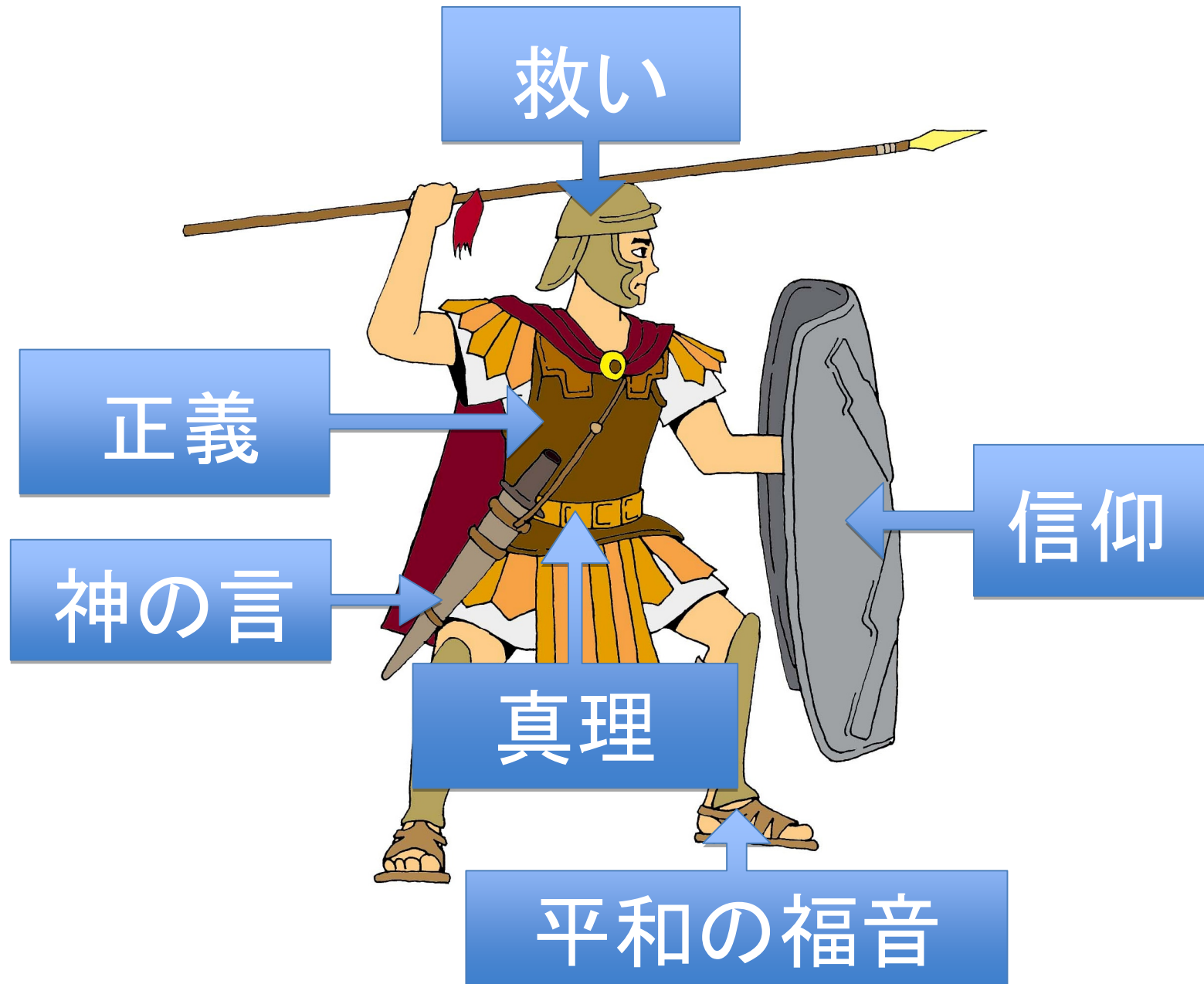


主テキスト:

「すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。」

(エペソ6:18)

[前回]: 神の全ての武具を身に付ける



A. 全ての聖徒のために祈る

(18節、コロサイ4:2)

1. 色々な形で:

「祈り(一般的祈り)と願い(嘆願)」

2. いつでも:

「どんなときにも」

「絶えず祈りなさい」

(1テサロニケ5:17)

「たゆみなく祈りなさい」

(コロサイ4:2)

3.御霊によって:「御霊によって祈りなさい」

- ・御霊の助けを仰ぎつつ祈る:

「御霊も…弱い私たちを助けて
くださいます。」 (ローマ8:26)

- ・御霊の思いをもって祈る:

「御霊ご自身が、言いようもない深いうめき
によって、私たちのためにとりなしてください
ます。…御霊は、神のみこころに従って、
聖徒のためにとりなしをしてくださるからで
す。」 (同8:26-27)

4.目を覚まして:「靈的に油断なく見張って」

- ・祈る前に:祈りの機会を狙う
- ・祈る最中も:主とともに覚醒して祈る
- ・祈った後:御心になるように、より頼む

5. すべての聖徒のために:

小さな交際範囲を超えて祈る

6. 忍耐の限りを尽くして:

「忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい」

<しつこい寡婦の譬え>

B. 伝道者のための祈り

(19－20節、コロサイ4:3－4)

1. 福音を語る機会が与えられるように:

「みことばのために門を開いて
くださるよう祈ってください。」

2. 大胆に語る事が出来るように

- 「当然語るべき語り方で、はっきり語れるように」
(コロサイ4:4)
- 「私の最初の弁明の際には、私を支持する者はだれもなく、みな私を見捨ててしまいました。・・・しかし、主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通してみことばが余すところなく宣べ伝えられ、すべての国の人々がみことばを聞くようになるためでした。」
(2テモテ4:16-17)

3. キリストの大使として証し出来るように

4. 福音の奥義を語れるように

おわりに

- すべての聖徒のために、
一層真剣に祈ろう
- 説教者のために祈ろう